

対象時期は第二次世界大戦後から2003年まで（堀道政期まで）

- ・自治体史では、首長の在任期間で区切ることが多い。
- ・近い時代は、歴史的評価が定まっていない。
- ・次の道史作成上、ある程度境目を明確にする必要。

資料編への掲載資料は、基本的にこの範囲内にとどめる。

- ・近い時代の資料は、調査収集及び公開が難しい場合が多い。
- ・資料編の解説の中で、対象範囲の前後に触れることは構わない。
- ・叙述の必要上、対象時期の範囲を超えて資料を収集することは構わないが、掲載は原則として範囲内にとどめる。

戦前・戦中からの連続性なしには説明が困難な事象や、
2003年以降の展開にまで一連の流れとして言及すべき事象は、
通史編の叙述の中で補足する。

- ・歴史の流れを叙述する通史編では、単純に年次で区切ることにはなじまない。
- ・現在にどうつながるのか、知りたい要求にある程度応える必要がある。
- ・一方で、分野によって叙述時期の偏りがあると通史編の統一感が失われるおそれがあるため、対象範囲を超える場合でも、「章を設ける」まではしない。